



IXIL 土間シャッター 手動(本体／ガイドレール) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

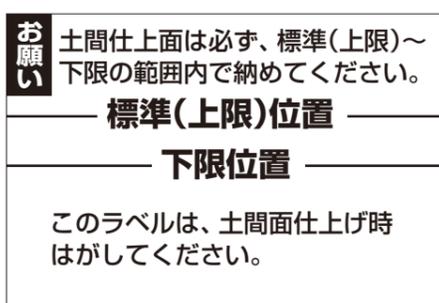
▲注意

- シャッター本体・シャッターボックスの脱落や漏水・変形による作動不良の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・必ず指定のねじを指定の本数使用し、固定してください。
 - ・本体が本体固定金具に掛かっていることを確認してください。
 - ・ボックス引掛部を天板の溝に差し込んでからねじで取付けてください。
- 取付け時およびスラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・シャッター本体を取付ける前に、枠の周りに防水テープが張ってあることを確認してください。
 - ・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス(点検口)、ガイドレールを埋込まないでください。

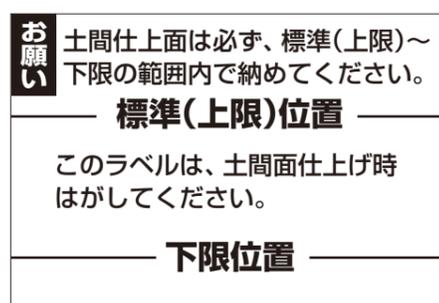
■取付け上のおお願い

- シャッターを取付ける前に枠の水平・垂直および下枠(一体のみ)の上下のソリがないことを確認してください。取付け精度が悪いとシャッターの作動不良の原因になりますので、かい物などで調整してください。
- シャッター取付け開口部の水平・垂直・対角寸法とねじれのないことを確認してください。取付け開口部の精度が悪いと商品本来の性能を発揮できないばかりでなく、故障や破損の原因になります。
- 本製品を軒天内部に納める場合、必ず軒天点検口を設け、必ずボックス(点検口)およびガイドレールが外部から取外せる構造にしてください。外せない場合、メンテナンスができなくなります。
- 壁仕上げの際、ボックス(点検口)・ガイドレールを塗込まないでください。メンテナンスができなくなります。
- ガイドレールは必ず土間に埋込んでください。又、土間仕上げ面はガイドレール下部ラベルの標準(上限)位置で仕上げてください。標準(上限)位置から下限位置の間で仕上げた場合は、ロックはかかりますが、ロックの受け部の位置調整が必要となる場合があります。範囲外だとロックがかからなくなります。

■ガイドレール下部ラベル



一体枠用



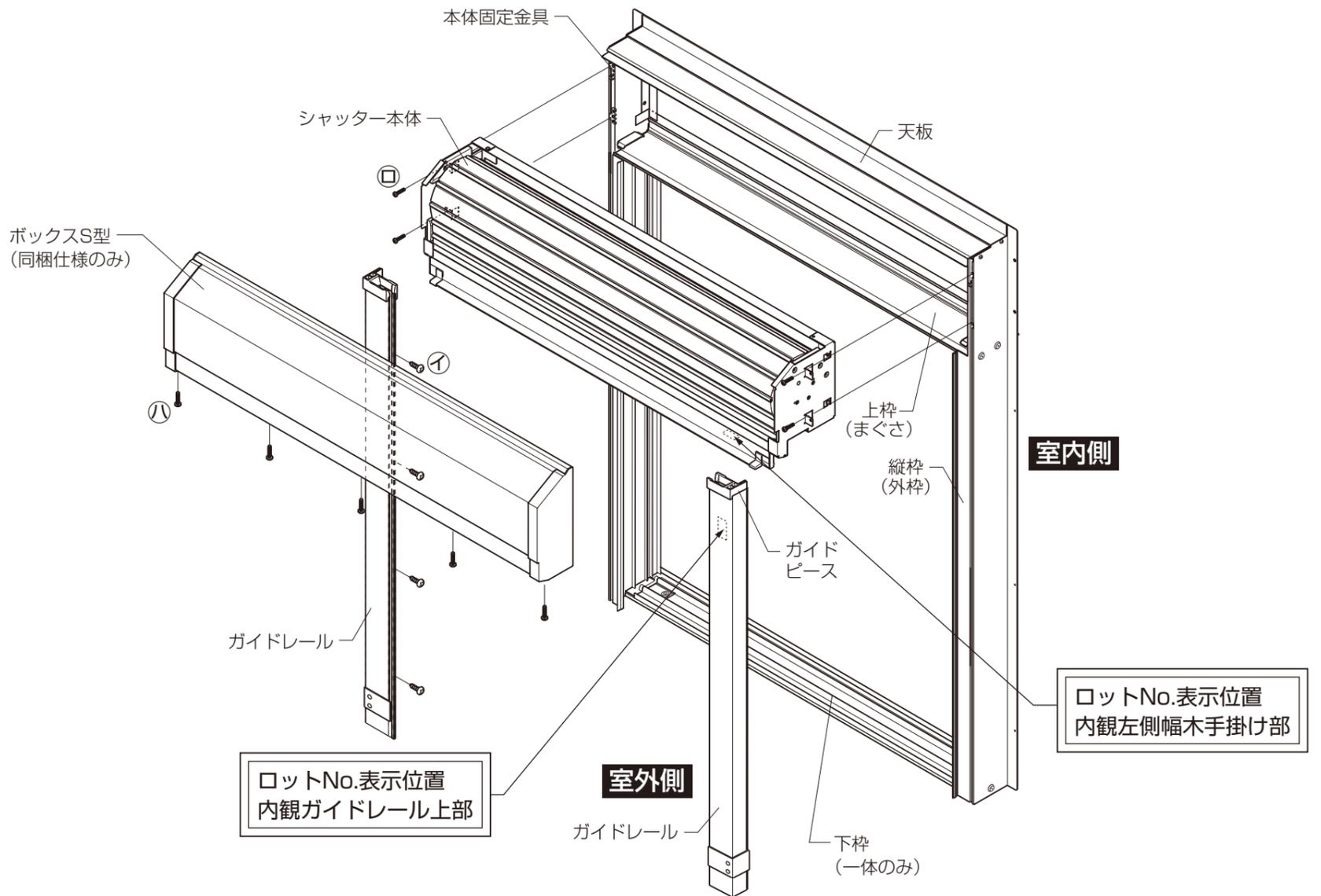
単体枠用

- モルタル施工の際、ガイドレール・下枠(一体のみ)にモルタルが付着しないように指導してください。
- モルタルはくり剤はアルミ表面を傷めますので使用しないように指導してください。
- 枠部分の組立て・取付けについては「一体枠 組立て説明書」、「一体枠 取付け説明書」、「単体枠 取付け説明書」をご覧ください。
- S型以外のボックスの取付けについては、「ボックス 取付け説明書」をご覧ください。

■取付け部品・ねじ一覧表

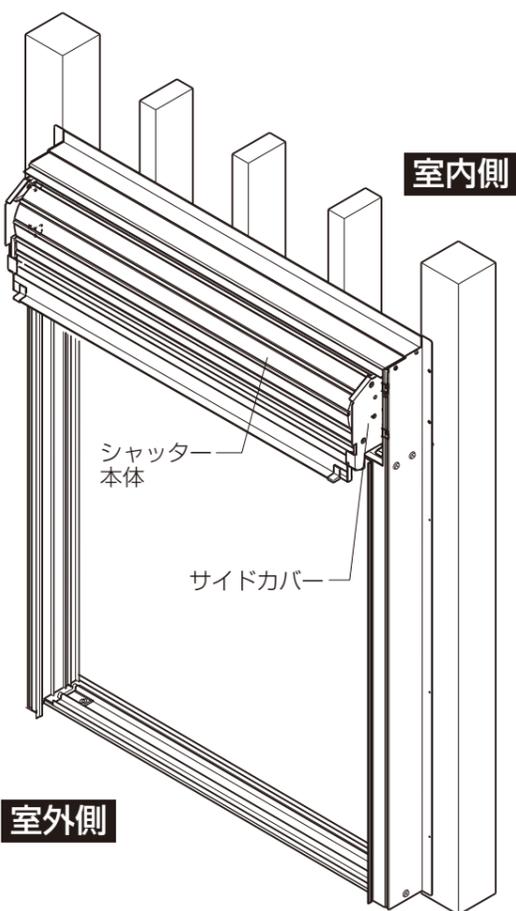
①	②	③(ボックスS型同梱仕様のみ)
		
トラスタッピンねじ φ4×8(D9.4)	バインド小ねじ M4×12(D8.3)	バインド小ねじ (先付け)M4×10

■構成図



■取付け順序

1 本体の取付け



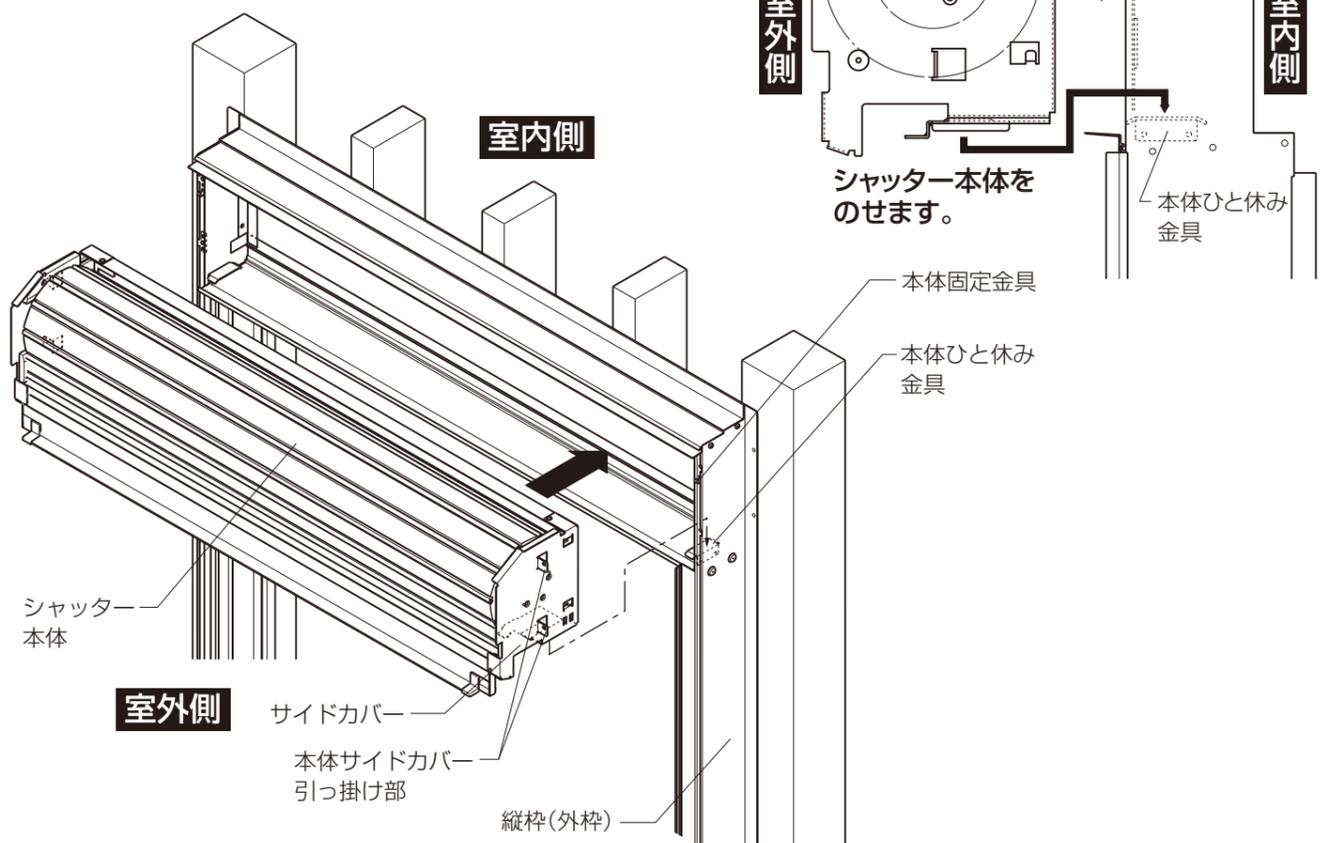
■取付け詳細

1 本体の取付け

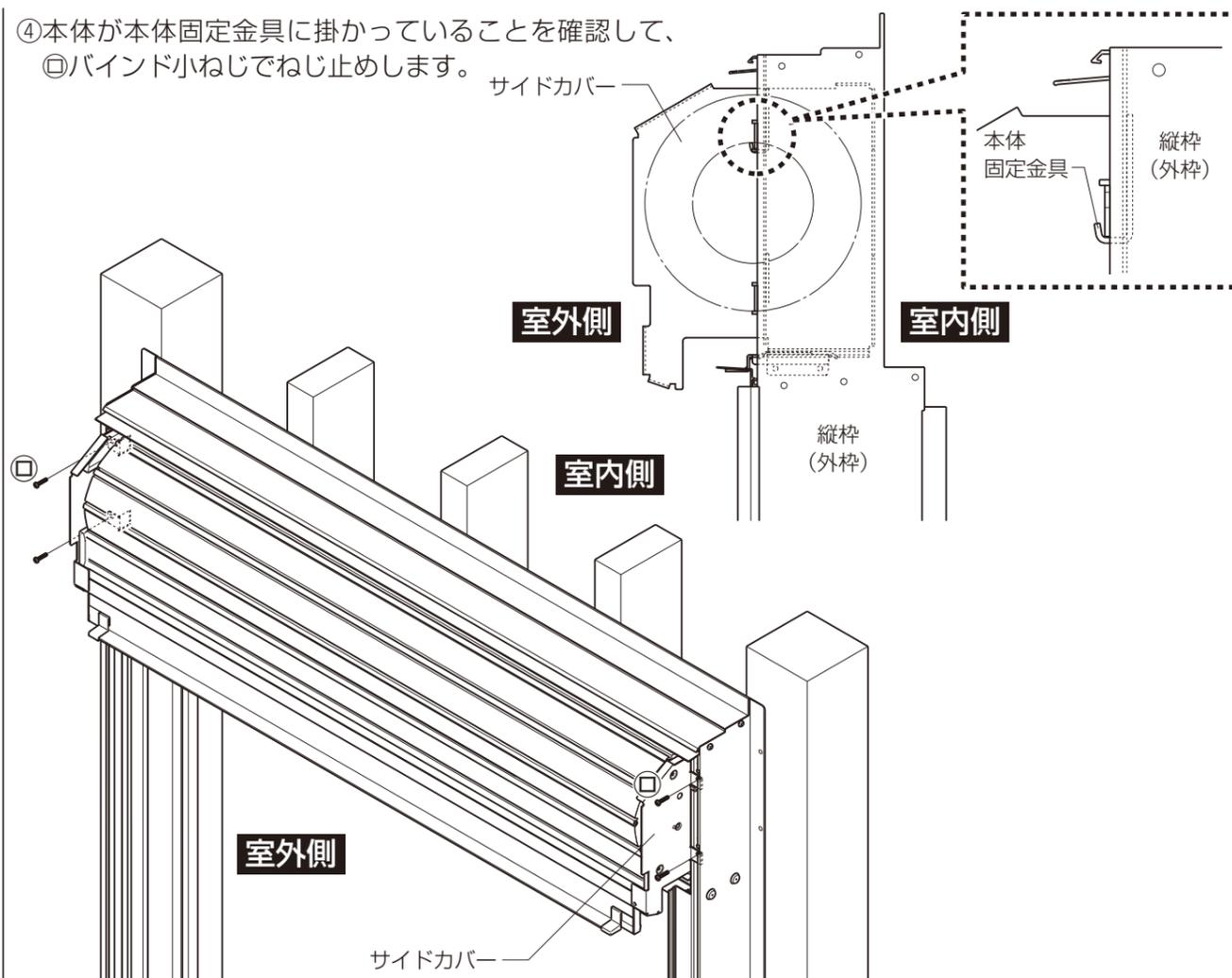
- ① シャッター本体をひと休み金具の上にのせます。
- ② 本体サイドカバーの引っ掛け部が、本体固定金具に当たるまで押込んでください。
- ③ 本体サイドカバーの引っ掛け部を、片側ずつ本体固定金具に掛けてください。

▲注意

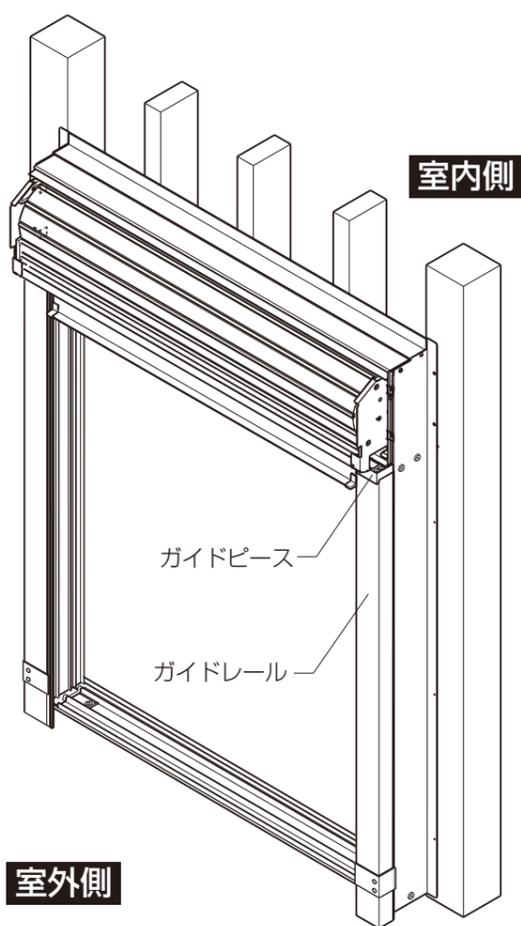
- 本体取付けの際は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。
- 本体が本体固定金具に掛かっていることを確認してください。シャッター本体の脱落や漏水・変形による作動不良の原因になるおそれがあります。



④本体が本体固定金具に掛かっていることを確認して、
 ◎バインド小ねじでねじ止めします。



2 ガイドレールの取付け

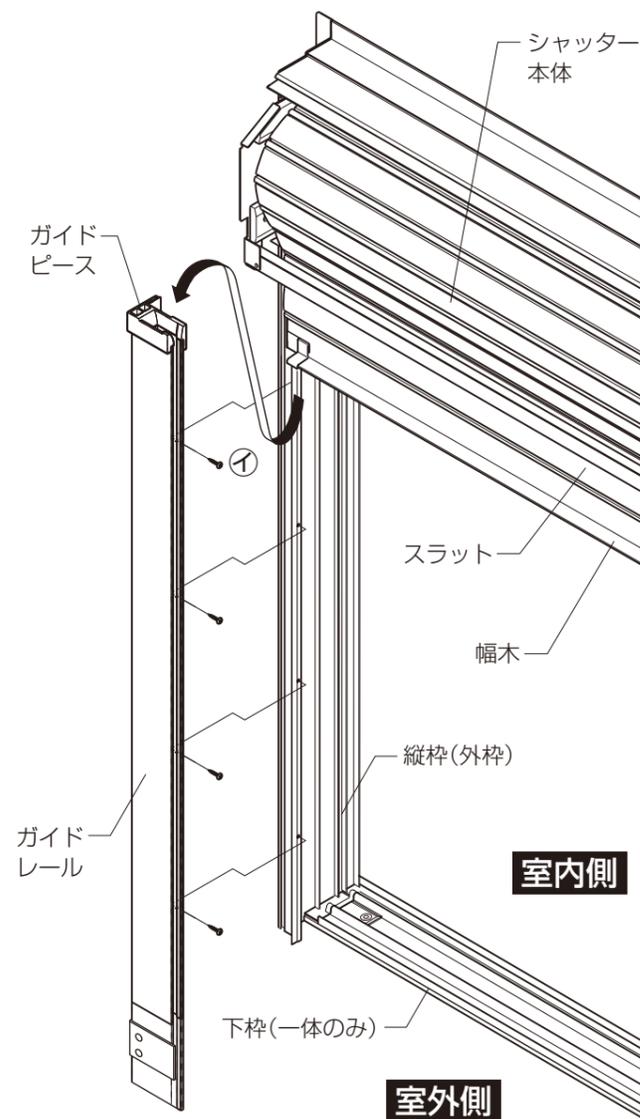


2 ガイドレールの取付け

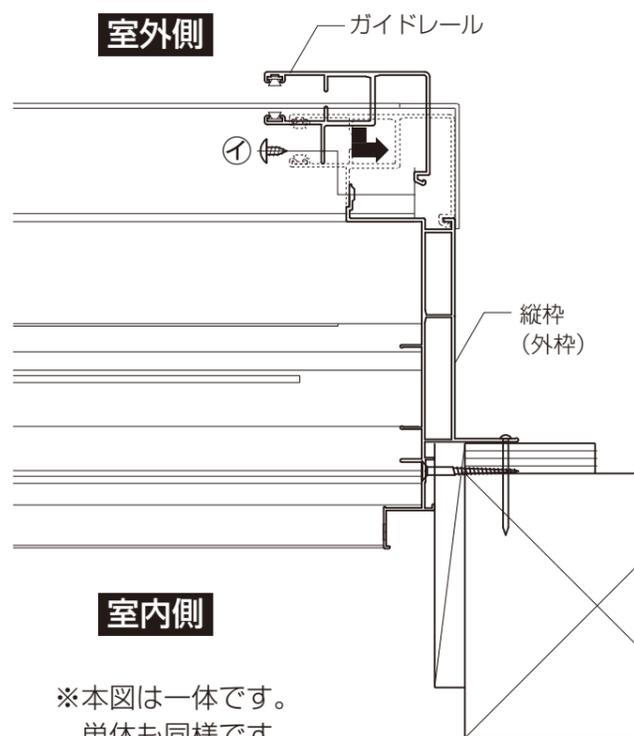
①幅木を引下げ、ガイドレールの上端(ガイドピース側)に幅木を引込み、そのままガイドレールの上端を本体内へ挿入します。

②ガイドレールをスライドさせ、縦枠(外枠)にはめ込み、①トラスタッピンねじで固定します。

※取付け完了後、開閉作動チェックをしてください。引っ掛かりなどの支障がある場合は、「3 スラットの横ズレの確認」を行ってください。



お願い
 ※ねじ山がつぶれるおそれがありますので、インパクトドライバーなどは使用しないでください。



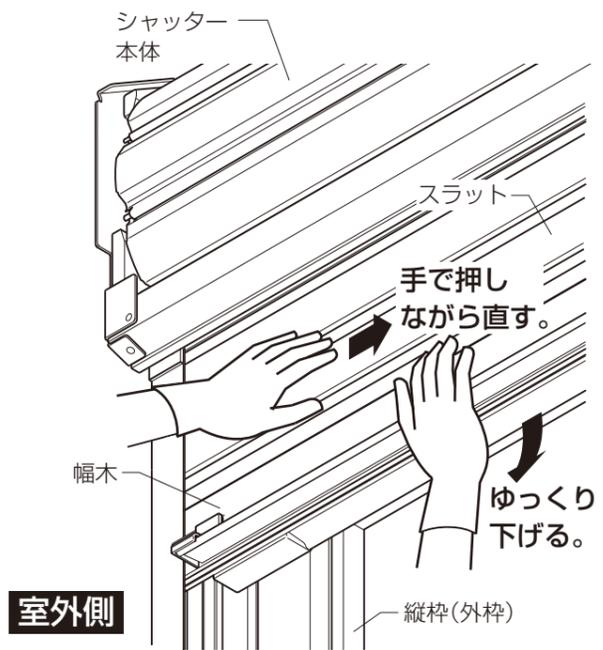
3 スラットの横ズレの確認

- ①幅木の中央を持ち、開口の1 / 3程度までスラットをゆっくり下げます。
 ※横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。

▲ 注意

- スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。
 素手で行うとケガをするおそれがあります。

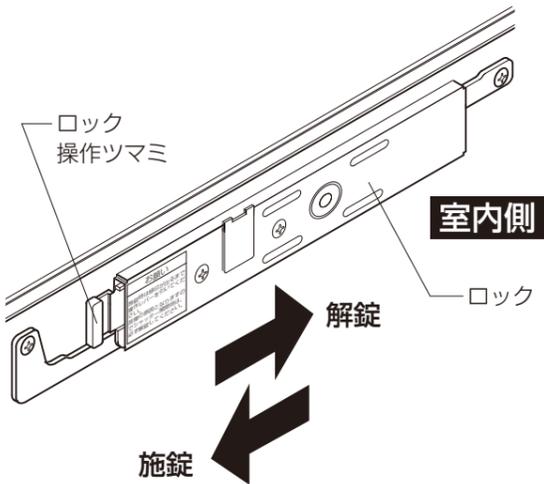
- ※縦枠(外枠)・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。
 ※幅木が本体の中に巻込まれないようにしてください。
 ②スラットをゆっくり上げます。



室外側

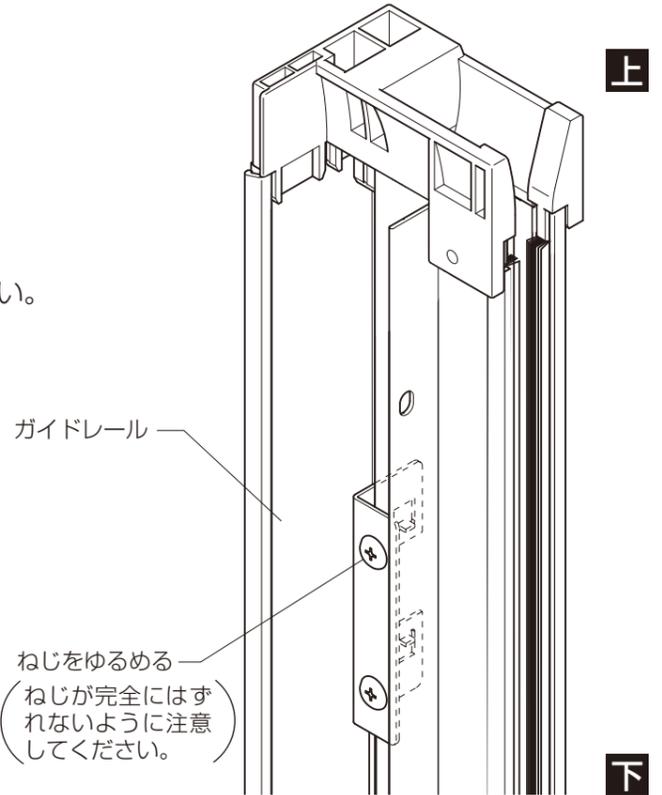
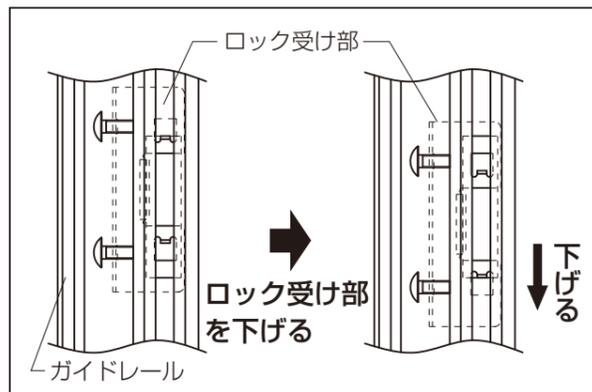
4 ロックの施錠、解錠の確認

- ①スラットをゆっくり下げて、幅木をガイドレール下部ラベルの土間仕上げ面標準位置に停止させます。
 ②室内側のロック操作ツマミを左右に動かし、施錠および解錠ができるかを確認します。



■ロック受け部調整方法

- ①ガイドレールを外します。
 ②ガイドレール室内側面のねじをゆるめます。
 (ねじは完全には外さないでください。)
 ③ロック受け部を移動します。
 ④ロック受け部のねじを締めます。
 ⑤ガイドレールを取付けます。
 ※ロックが掛らない場合は再度微調整してください。



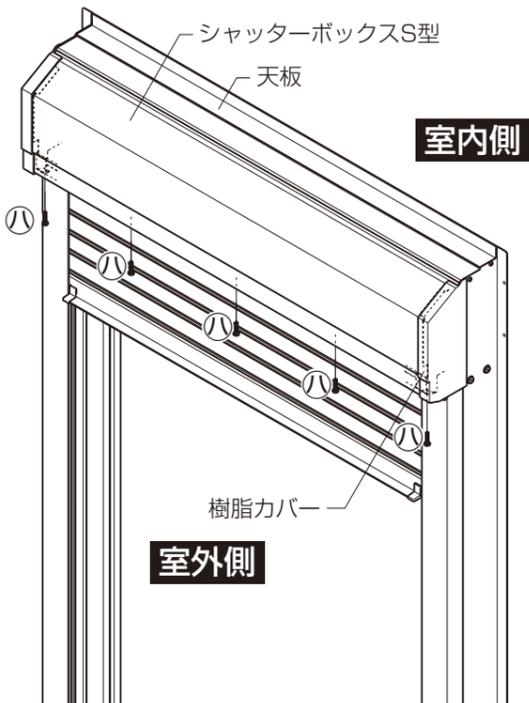
5 シャッターボックスS型の取付け(同梱仕様のみ)

- ①シャッターボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。

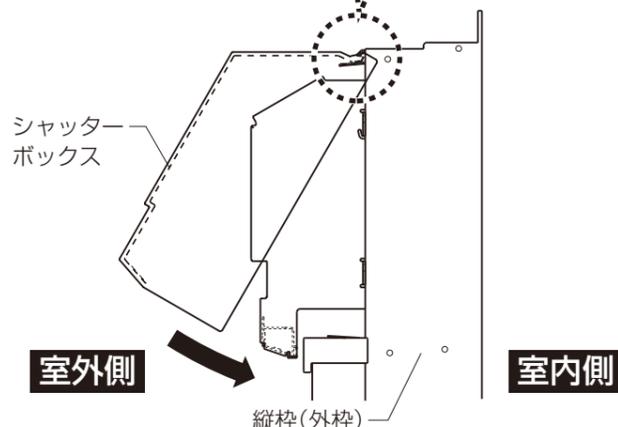
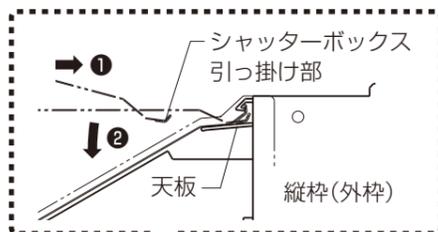
- ②シャッターボックスの下側から本体へ
 ①バインド小ねじで止めます。

▲ 注意

- ボックス引っ掛け部を天板の溝に差し込んでからねじで取付けてください。シャッターボックスの脱落や漏水・変形による作動不良の原因になるおそれがあります。



室外側



室内側

